

平成29年5月20日(土)実施



宇部市新庁舎建設 ワークショップニュース 第1号



発行：都市整備部まちなか再生推進課本庁舎建設係
〒755-8601 宇部市常盤町一丁目7番1号 電話0836-34-8200／ファックス0836-22-6050

宇部市では平成30年度の設計完了を目指して、新市庁舎の設計者を選定しました。基本設計ではこれまでの基本計画への市民参加に加えて、市民活動支援機能とまちづくり拠点機能の具体化をテーマに、全4回の市民ワークショップを実施することとしています。今年度第1回目となる今回は、新天町アーケード内で行いました。42名の市民と6名の職員が8つのグループに分かれ、熱心な議論が行われました。

まず最初にワークショップの目的や流れ、現時点の計画概要について事務局より説明しました(p2~3)。次に『新庁舎の提案に一言』を自己紹介カードに書き、グループ内で紹介しました(p4~6)。その後、宇部市内にあるいくつかの市民活動団体の活動についてご紹介しました(p7~9)。休憩の後、グループで『市民活動支援スペースや広場でこんなことができればいいナ!』をテーマに話し合い、3つの提案にまとめていただきました(p10~12)。全体の場で検討結果を発表した後(p13~14)、感想カードを記入していただき(p15~16)、第9回のワークショップを終了しました。

このワークショップでは、できるだけ多くの市民の方に新市庁舎の計画内容を知って頂くため、多くの皆さんの目に触れる工夫をしたいと思います。ワークショップの場に出会ったら気軽に参加してください。傍聴だけでもかまいません。大歓迎です。多くの人の意見でかけがえのない市庁舎を実現しましょう。

ワークショップの流れ

- 第9回
日時：平成29年5月20日(土)14:00~
場所：ハミングロード新天町アーケード内
- 第10回
日時：平成29年7月15日(土)13:30~
場所：宇部市総合福祉会館
- 第11回
日時：平成29年8月5日(土)13:30~
場所：ときわ湖水ホール
- 第12回
日時：平成29年9月23日(土)13:30~
場所：宇部市立図書館

第9回プログラム

1. はじめに
2. ワークショップの流れを理解する
3. プロポーザル時点の計画提案を説明
4. まずは自己紹介
5. 市民活動団体からの活動紹介と新市庁舎に対する思い
6. 『市民活動支援スペースや広場でこんなことができればいいナ!』
7. まとめ



ワークショップと基本計画について説明しました

事務局より、ワークショップの位置づけと目的、基本計画について説明しました

● 本庁舎の現状

本庁舎は昭和33年建設以来7回の増築を重ね、59年が経過している。

(現状の問題点)

- ①耐震性能と防災拠点機能の不足
- ②老朽化と保全費用の増大
- ③狭あい化と利便性、効率性の不足
- ④ユニバーサルデザインへの対応不足
- ⑤市民利用機能とまちづくり拠点機能の不足

● 新庁舎建設の検討経緯



<理念とコンセプト>



● 新庁舎の規模と配置

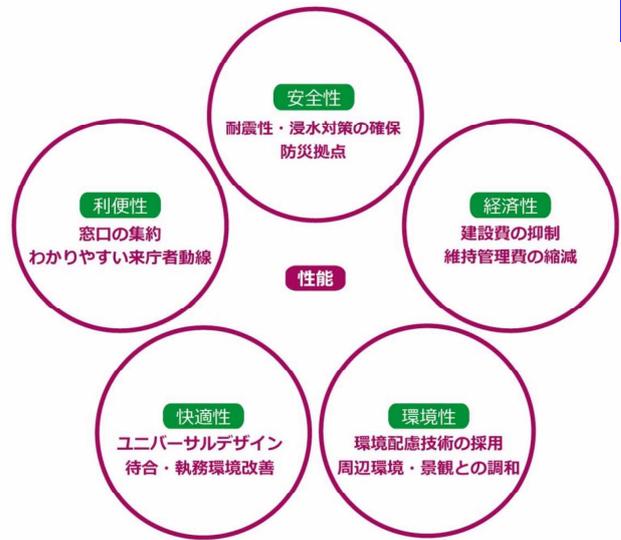
◆税務署との合築を踏まえた庁舎の規模を約18,500㎡に設定。現庁舎、宇部市駐車場、税務署及びこれらに挟まれた市道を統合した敷地とする。(配置にあたって重視する5項目)

- ①建設費を抑制するため、可能な限り仮設庁舎を利用しない。
- ②敷地北側の住宅地への日影の影響など、周辺環境へ配慮する。
- ③「宇部市にぎわいエコまち計画」「宇部市景観計画」に則り、景観・にぎわい形成に寄与する。
- ④新庁舎と駐車場・バス停とのアクセス性に配慮する。
- ⑤駐車場の進入路は周辺道路状況に配慮した配置とする。

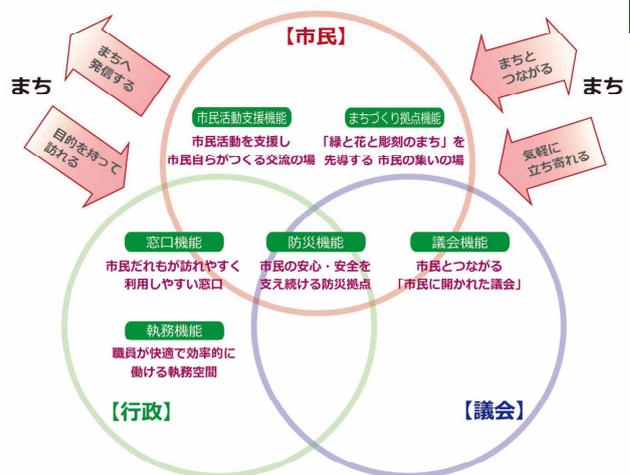
● 設計者の選定

プロポーザル方式で選定した株式会社佐藤総合計画九州事務所と、株式会社美建築設計の共同企業体と契約。設計案はこれから市民の皆さんと一緒に考え、意見やアイデアを設計に反映していく。

● 備えるべき5つの『性能』



● 導入すべき6つの『機能』



● 概算事業費

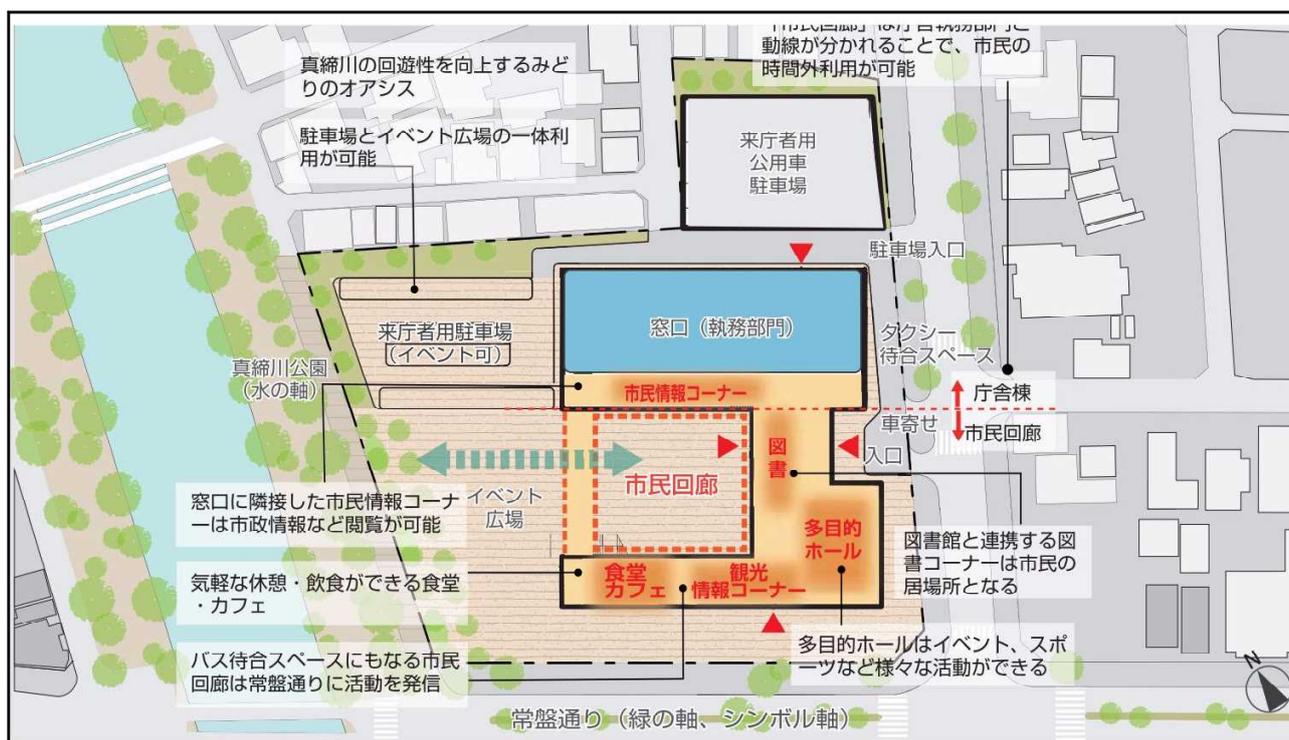
■現駐車場部分に新庁舎を配置し一期で庁舎を建設した場合

新築工事	約18,500㎡	約83.3億円
解体工事	約15,350㎡	約3.8億円
外構工事	約11,000㎡	約3.9億円
その他工事	地盤改良費、造成工事等	約2.4億円
その他経費	設計監理料、支障物件移転補償費	約4.9億円
消費税及び地方消費税(29年度以降10%で算定)		約9.8億円
合計		約108.1億円

参考：仮庁舎が必要になった場合の追加費用(税抜) 約14億円
 駐車場が立体になった場合の追加費用(税抜) 約5.8億円
 ※自走式5層6段 300台

プロポーザル時点の計画提案を説明しました

プロポーザルで提案した宇部市庁舎の基本的な考え方について、設計者から説明しました



※プロポーザルで設計者から提案された案であり、この内容がそのまま基本設計となるものではありません。

● 市民活動支援機能をもつ市役所

- ◆事務的機能を5階建ての建物に集約
 - ・行政、議会など市役所の事務的機能をコンパクトに配置。
- ◆市民も利用できるスペースを回廊型に配置
 - ・南側の2階建て建物に多目的スペース、食堂・カフェスペース、情報コーナー、会議スペース等、市民が自由に使える市民協働スペースを設ける。
 - ・時間外でも使えるよう、市役所機能と分離。
 - ・常盤通りに面する場所に設け、活動の様子が外からも見えるようになることに期待。

● にぎわいの拠点としての市役所

- ◆市庁舎内にイベント広場を設置
 - ・宇部市にはいくつかのお祭りがあり、市民が生き生きとした形で活動されている。
 - ・宇部独自のにぎわいの場所を定期的に市庁舎の中のスペースに取り込みたい。
 - ・広場でお祭りやマルシェ、いろんなイベントを行い、宇部独自の場所となれば良い。



全体の場で質疑応答がありました

参加者-1：交流スペースの屋上部分に屋上広場、花壇と描いてある。市役所の横に真締川があり、その両サイドがずっと公園なので、この両側を花壇にしたら良いと思う。新天町常盤通りの回遊性を増すためにも、真締川の公園をもうちょっと有効利用するような方向で市役所を考えていただきたい。

設計者：是非とも参考にさせていただきたい。屋上花壇も含め、この場で皆様方の意見をお聞きして、より良いものにしていきたい。

参加者-2：庁舎部分を5階建てより高くして、他のスペースを広げるということはできるのか？空港が近いので、高さ規制があるのか。

設計者：5階建て以上が不可というわけではない。ただ北側には民家が近接しているので、高くすると周辺環境が悪くなると考えている。コストの問題もあるのでコンパクトに、市民活動などにはスペースを与えるというような、メリハリをつけることが必要と考えている。

参加者－3：建物の高さについて、日影を考慮すると細長く高いものを建てた方が有利になるのではないか。

設計者：今後、設計の中で市の方々と十分に検討して決めていきたい。



設計者：佐藤総合計画 飛永氏

参加者－4：これから人口も減って行きつつあるが、財源の方は大丈夫なのか。

宇部市：基金等の積み立てや、国の起債も活用しながら進めていきたい。

久保田市長：平成7年から基金を積み上げてきているがそれでも大変な状況であるので、今後10年の財政計画を作り見通しを立てて計画に着手している。厳しい状況ではあるが、やらない理由にはならないので、できるだけオープンに、市民の皆様と議論しながら設計案をまとめていきたい。

自己紹介『市庁舎の提案に一言』

新庁舎の提案に対する思いを自己紹介カードに書き、グループ内で紹介しました

市民のための市役所

- ・市民が喜ぶ市庁舎でOK。
- ・みんなが手続きに来た時に、利用しやすかったと言えるような便利な庁舎になればと思っています。特に高齢者にはわかりやすい表示をしたら良いと思います。
- ・①老朽化した本庁舎の建設は、未来に向けての耐震、防災を兼ねた市民の為の新庁舎。②真締川の公園と一体化された新庁舎。
- ・自主子育てサークルに20年くらい関わっています。各支所の機能を活かしながら、政としての宇部市中心の役割を果たすのが第一です。宇部市民が、市民全員が必ず1回は行きやすい市役所であってほしい。宇部の歴史や宇部の良さが外から来た人に一目でわかるスペースもほしいですね。すべての人に使いやすい、明るい市庁舎であってほしい。
- ・ハード、ソフト面、両面からの障がい者、高齢者、子ども、誰にでもやさしいユニバーサルな市庁舎を望む。
- ・真締川公園の緑とのつながり、回遊性。市庁舎は若者が足を運びにくい場所であると思います。気軽に足を運べるために、若者も使える空間。
- ・市役所を利用する機会が少なくイメージづらい点が多いですが、学生の視点から考えていきたいです。
- ・真締川に面して広場を配置し、その隣に中庭を設け入口があるので、上手くいけば良い市民のための広場、庁舎となるのではと考えます。宇部市民メインの庁舎となって考えられているので、出来上がるのが楽しみ。もう少し学生(若い人)を取り入れても良いのではと。

ワークショップで検討を進めていきたい

- ・市民活動を行えるスペースを大きくとった案となっていると思います。まだ具体的に使われ方について見えていない部分が多いため、そこについてワークショップで深まればと思っています。学生活動をやっているのので、そういった活動で使えたらと思います。
- ・在日のマレーシアから来た留学生です。今年から6年目に日本にいてることになっています。今日のワークショップに参加して、皆の意見を聞きまして、今後の色々に参考になります。
- ・システムの概要は理解し、市民活動とコミュニケーションづくりについて了解。今後の検討課題。①駐車場の位置、配置。②現段階における新庁舎の特徴は？③イベント広場と真締川公園との回遊性に考慮。73才、最近地域活動に参上。



市民が集える市役所

- イベントの時だけでなく、普段から市民が集い、くつろげる空間にしてほしい。屋上花壇も、どこにでもあるものではなく、見るだけであっと驚くようなものにしてほしい。
- 新庁舎を中心に宇部がにぎわうように。川辺の公園も有効活用。川辺にはカフェ（民間）も設置許可したら良い？ N P O 法人の紹介スペース。夜も22時くらいまで使えるスペース。
- 市民の人達が気軽に楽しめる場が出来ると思うので、それによってさまざまな年代の方々が楽しめて、交流出来れば良いなと思いました。
- 市民が共用で使えるスペースが多くとれば良いと思う。カフェなど。南北、または東西への回遊があれば良い。
- 土日祭日にちょっと寄っても楽しめる様な場所であってほしい。
- 多目的スペースでの催し物は市民に開かれた場所であることが大切。私としては今年から本校がコミュニティスクールになりましたので、市民に対する「理科教室」をしていきたいと思っています。工業立国である日本を支える工業技術を、宇部市民にお知らせする良いスペースだと思います。又、全て外から（参加していない人）も見るができることで、興味をもってもらえるセンスを大切にしたいと思います。又、全てのカラーを統一すること（センス）が大切だと思います。使用されるマテリアルも宇部市のものを使うことが大切だと思います。
- 市役所に用事がなくても市民が集まる広場に！駐輪場は多く、余裕をもって使ってほしい。真締川と一体となったスペースづくり。作ったら利用率の上がる計画も必要。

「緑と花と彫刻のまち」にふさわしい庁舎

- 緑と花と彫刻のまちというにふさわしい庁舎となるように設計、計画してほしい。
- 公園、ちょっとしたスペースでも花があったら良いと思います。宇部西高生としては植物があった方が良いでしょう。
- 庁舎の建て替えは真締川と両サイドの公園、常盤通り等のセントラルゾーン的环境整備の一つと考えます。水と緑と花に囲まれた機能的、合理的な静かなたたずまいの建物を希みます。にぎわい創出は川、公園の回遊性を造る（花回廊）事によって生まれると思います。
- 「緑と花と彫刻のまち」である宇部だが、外部の人はあまり知っている人や感じられる場所が少ないため、市庁舎からアピールをしていくために屋上花壇などはおもしろいと思う。情報発信の中心としての拠点として期待。
- 緑、水、花、彫刻の美しさを演出する提案で、花壇を屋上とすることに賛成。
- 場所は最適と思う。緑と潤いのプロムナードは貴重な空間になる。花と緑と彫刻のまちの象徴空間となることを期待する。二階のスペースには期待大です。関連団体や世代間の交流が常時できやすい空間になればいいと思います。（このワークショップのように）
- 本庁舎の建物の構造はどうなっているのか？屋上花壇と真締川の回遊性があれば良いと思います。真締川沿いのイベント広場も良いと思います。しかし庁舎と「緑と花と彫刻のまち」との一体感はいかがでしょう。できれば「緑と花と木」でCLT工法を使用した「木の庁舎」が良いと思う。川との一体感、キャナルシティのように観光名所になるのでは。



計画に対する提案・意見

- ・本庁舎5階の屋上の活用について。共用スペースの大きさと場所、駐車場の台数の関係を考慮する。バスの停留所は、ロータリーをつくり近づける。全面禁煙にする。
- ・①バス停⇄庁舎の動線を考える。庁舎前のバス停位置を考慮できないか。(例)分離帯を撤去し、バス停を庁舎側に移す。②屋上花壇は必要なし。建築コストアップとなる。
- ・人口減で10万人を切ると予想されるため、役所部分の減築が出来る様にして欲しい。物理的でなくても、不要になったスペースを他に利用できる様にフレキシブルに作ってほしい。起業する若者の支援をするスペース機能が欲しい。例えば内部に期間限定で安価に賃貸する場所を作るなど。
- ・多目的ホール、情報コーナーの必要度(他庁舎との比較)。維持管理費。
- ・まちなみに調和した使いやすい庁舎。維持管理しやすく、ランニングコストも少ない庁舎。
- ・市庁舎隣接地区。市庁舎建て替えについて、自治会住民は各方面で気にしています。今後の成り行きに注目しています。駐車場出入り、イベント広場(芝生、コンクリート…)のあり方等々。庁舎全面禁煙の意見あり。
- ・常盤通り側を広くしてイベント広場としては？真綿川沿いの道路をなくして、敷地の一角にして広くしては？駐車場との高低を利用して、駐車場より地下通路を設けて玄関ホールに入れる様にしては如何？
- ・イベントなど、企画が行われない時の中庭の機能は？用事を済ませた後も利用してもらえる空間づくり。
- ・中庭をつくるなら回廊は必要ない。メインエントランスを常盤通り側にする方がいいかも。イベント広場が利用されない時はどうするのか。また場所を用意しただけでにぎわいのある街になるのか。
- ・街に買い物に出ていて地震になるとやはり市役所をめざして行くと思いますが、その様なスペースは確保してあるのでしょうか。データがあるコンピュータ室はなるべく高い階になる様、考えてもらいたい！
- ・①真綿川からの水害に対してどう考えるのか？②イベント広場(24時間オープン時)の保守etc.はどうするか？③医学部病院の災害対応との連携体制はどう考えるか？④駐車場へのアクセス性はどう確保するのか？
- ・多様な活動に対応できる建物の構造にしてもらいたい。
- ・37歳。7歳、4歳の女の子2人。休日に遊びに行く際、遊具のある公園を選ぶ。宇部市内にそういった公園、欲を言うと雨天でも遊べる場所。市役所には全ての機能は求められない(スペースとお金)。選択と集中。
- ・にぎわいに対して真綿川と反対側、常盤通り側交差点も広場と同じ様に大切。食堂、カフェを将来的に使ってもらえる様に。
- ・花壇を減らして公園を作る。屋上の排水性を高くする。スポーツができる体育館のようなスペースの確立。
- ・宇部の将来や市民についてよく考えられた提案だと思いました。

久保田市長からの挨拶

ようこそ市民ワークショップにお越しただきました。

宇部市役所本庁舎は昭和三十三年に完成して約六〇年、増改築を繰り返して、何とか今日まで来ました。しかし老朽化を始めとする様々な課題があり、二十年前から積立を始め、この3、4年はいろんな動きが本格的になってきたところではあります。この市民ワークショップも今回で9回目、今年度中に4回を予定しています。これまでの市民の思いや考え方を図面に落とし、基本設計、実施設計を三年度までに行います。この1、2年は重要な年度になりますので市民の皆さんが理解出来るように、少しでも関心を持って、出来れば参加をしていただきたい。そのためにオープンな場所での開催を考えました。次回以降の開催場所についてもご提案いただければと思います。

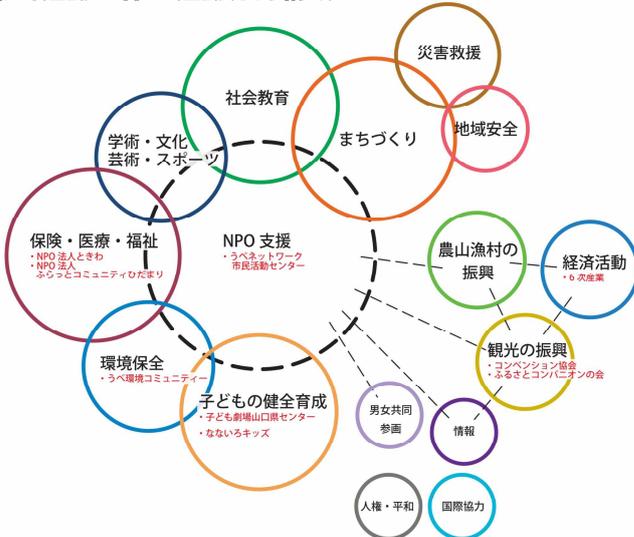
我がまちにとって歴史的な大きなプロジェクトです。行政や議会、防災拠点としてのみの建物ではなく、まちの顔となる拠点機能、多様化して活発に進められている市民活動の支援機能を市役所に一緒に盛り込めないか、これがこれまでの議論の中で多くの方から出されてきたところですので、今日は思いっきり議論していただき、作業していただいて悔いのない、皆さんの思いが形になるように進めていけたらと思います。



宇部市の市民活動団体を紹介

宇部市内にある多様な市民活動団体について、紹介しました

○市民活動団体の活動分野構成



活動分野名称は山口県NPO法人データベースに基づいています。これまでヒアリングを行った団体について名称を記載しています。

市役所が、そこに生きている人達が住みやすい、活動しやすい拠点になっていくことはとても重要なことだと思う。

一般的な市民活動のジャンルを、県のNPO法人のデータベースを元に作ってみた。いろんな活動をされている方が宇部には多くいて、他の自治体に比べて市民のレベルが高い町だと思っている。

いくつかの団体の話を聞き、活動をしている人同士が横につながればもっと面白いことが起きるのではないかと感じた。



市民ワークショップ
支援グループ 内田文雄氏
(山口大学教授)

1. NPO法人うべネットワーク

○活動の経緯

- ・ 民設民営の市民活動の中間支援組織
- ・ 市民活動センターの運営を受託する団体として作り、平成12年NPO法人化。
- ・ 運営費は市からの管理委託費用及び自主事業
- ・ 市民活動センターの運営：常勤2名、パート3名
- ・ 登録団体数：113団体、7個人

○活動内容

1. 宇部市民活動センター「青空」の運営、管理

- ・ 人と人が出会い、交わる場所の提供
- ・ 市民活動に必要な場所、コピー機等の提供
- ・ 講座、イベント、セミナー等の開催
- ・ 助成金制度の案内と申請方法等の情報の提供
- ・ 機関誌「青空通信」を発行等を通じた市民活動団体に対する情報提供、及びSNS利用のPR活動

2. その他の企画・運営活動

- ・ 新川市祭り、宇部祭りでの一部ゾーンの運営、展示、出展等の実施
- ・ キッズうべたん・うべ探検博覧会の実施

3. 受託事業

- ・ 「子育てグッズ・子ども用スポーツグッズリユース業務委託事業」等の受託、実施

4. 今後の展開

- ・ 真の意味での中間支援組織になれば良い。

2. NPO法人子ども劇場山口県センター

○活動の経緯

- ・ 1975年、宇部親子劇場の活動をはじめた。この頃、地域の子供達にプロの舞台芸術を見せようという活動が全国的に広がった。入会金-2000円
- ・ 若者座、宇部芸術座、音楽鑑賞協会等と定例会を行っていた。
- ・ ホールの建設のため、話題のホールを見学したが結局、ホールは建たなかった。宇部には子どものための施設がない。90年代には会員数も減少。
- ・ 1989年 子ども劇場親子劇場協議会を組織し、事務局を小郡に置いた。1999年にNPO法人化。

○現在の活動

1. 子どもの芸術体験活動

- ・ 子ども達へ鑑賞機会の提供、26年度は11作品、26ステージを企画実施

2. 「チャイルドラインやまぐち」の運営

- ・ 2004年度より活動を行っている。
- ・ チャイルドラインは18歳までの子ども専用電話。指示や助言をするのではなく、子ども自身が問題を整理し、解決する手助けとなることを目指した活動。全国で70団体ある。毎年活動報告「チャイルドラインやまぐち」を作成している
- ・ 運営委員：6名
- ・ アドバイザー：2名（臨床心理士、小児科医）

3. 子育て応援グループなないろキッズ

○活動の経緯

- ・2016年4月設立。メンバー17名、保育士2名。
- ・子育て時、相談に行く所がなかった。通っていた自主育児サークルが無くなったのを機に始めた。

○活動内容

1. 子どもやお母さん達の居場所づくり

「いつも、そこがあるから頑張ろうね!」と思える居場所づくりを目指している

2. ひろばの運営

- ・シルバーふれあいセンターの中のひろばの運営
- ・一時期、多世代交流広場のコンテナハウスでひろば活動をやっていた。今年度になって、シルバーふれあいセンターへ場所を移した
- ・出張のひろば…黒石地区の公民館 広場のない地区に出かけて子育てひろばの運営を行う。

4. ふるさとコンパニオンの会

○活動の経緯

- ・竹下内閣当時「ふるさと創成資金」を利用して地域の文化・歴史・経済に精通した人材を育成するために「ふるさとコンパニオンの会」を募集し、30名が集められた。
- ・当初はガイドとして自立するまで2～3年養成期間があった。観光ボランティアガイドである。
- ・現在、女12～13名、男7～8名が活動。

○活動の内容

- ・ときわ公園の案内が70%くらいを占める。
- ・猿、植物、歴史等について情報を提供出来るように頑張っている
- ・それ以外、古地図を使って宇部の歴史を訪ねるまち歩き等のガイドをしている
- ・参加は高齢者が多い

5. NPO法人ふらっとコミュニティひだまり

○活動の経緯

- ・精神障がい者のニーズに適したサービスや、地域における支援体制は不十分であるため、当事者のリハビリテーションや支援、地域住民との交流を行なう事業に取り組む。H17年にNPO設立
- ・総合循環型モデル事業の支援を得て、琴芝のまちなかの空き店舗を改修して拠点をつくった。

○活動内容

- ・「いつ来て、いつ帰っても良いよ」という利用形態。地域の中の保健室
- ・現在登録者は60名。利用者に応じて市に利用料を請求している。
- ・スタッフはパートで3～4名、他に山口大学医学部の山根研究室の学生が研修生として参加。
- ・「日だまり新聞」の発行
- ・県の事業である「ひきこもり支援活動」にも取り組む。市は独自のひきこもり支援を行なっている

○今後の展開

- ・活動の理想型としてフィンランドの「オープンダイアログ」が参考になる。地域そのものが障害者にとっての受け皿になり、精神科病院を中心に、チームで総合的に障害者に関わる仕組みをつくりあげることが重要。そのような地域福祉のかたちをつくることを目指したい

6. NPO法人ときわ

○活動の経緯

- ・もともと、精神保健家族会として、家族会が運営していた
- ・H18年に障害者自立支援法が出来たのをきっかけにNPO法人化した
- ・現在、就労継続支援B型の活動を行なっている。

○活動の内容

「工房ときわ」と緑豊舎の2拠点で活動している

◇工房ときわ

福祉センター内：41名

受託業務：内職 50代が多い

※宇部市障がい者就労支援ネットワークで共同受注をしている。

◇緑豊舎

二俣瀬：農業31名 40代前半

・空き農地を借りて野菜を育てている。収穫した野菜を加工して商品化している。切り干し大根、干し芋、ジャム等。

・宇部には事業所が多く、様々な事業所製品がある。「うべまる」という統一した名称を付けて商品化している。地域の祭りに売りに行くこともある。

○今後の展開

- ・福祉関係は様々な団体が多くあるので、会議などに使えるスペースが市役所の中にあると良い。

7. NPOうべ環境コミュニティー

<p>○活動の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7年前にNPO法人化した ・会員数：50名程度、年間8000人の利用 	<p>○活動の内容</p> <p><u>1. 環境学習館の運営（指定管理）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1期、環境学習館の指定管理業務を請けた。引き続き第2期（H27年度～）を受託。 ・中高生のための学習室運営（9：00～21：00） ・会議室等の貸し出し業務 <p><u>2. 環境教育</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ESD推進事業：環境教育に特化した活動 ・環境サロンの実施 <p><u>3. 他の環境関連団体との連携</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球環境保全活動においてはUNCCAと連携 <p><u>4. 環境関連の外部資金獲得努力</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省の補助金が採択された
<p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習館に駐車場がないため、活動に制約がある。 	
<p>○今後への期待</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金申請等に行政が入り、支援してもらえると有利である。 ・新しい市役所に市民活動団体の居場所が出来ると良い 	



来ていただいた3つの団体からコメントをいただき、内田先生から補足しました

宇部市民活動センターセンター長 山田節子さん：
センターが出来て15年ほど経つがインターネットの普及もあり、支援の内容も変わってきている。

宇部市の「協働によるまちづくり」の後方支援、ネットワークの構築を目標に挙げながら、今年度から3年かけて、新庁舎の広場につなげられたら良いなと思っている。

ここで市民同士、ゆるやかなつながりを持ちながら活動していくと、また活動の輪がステップアップしていくと思う。市民活動センターとして私達もつなぐ役割を今から強化していきたいと思っている。

内田氏：いろいろな活動団体のつながりになっている。行政があって民間の活動がある、その中間の組織。ゆるやかに市民の様々な活動をつないでいくような活動をされている。

* * *

子育て応援グループなないろキッズ代表 岡崎啓子さん：市から委託を受け、子どもすくすくプラザの2階のプレイルームの委託運営をしている。

昨年度は山口県の助成金で、いろいろな校区で子育て家族が集える出張ひろばをやった。

市役所の建て替えについて知らない方も多し。市役所は行くだけでなく、子育て家族が集える場所ができればいいなという話もお母さん方からいただいている。

内田氏：子育て中の人達と、子育て経験者の方々がうまくつながっていくと、安心して子育てができる宇部市ができていくのではないかな。そのつながりの拠点を、市役所の中にどう組み込めるかも大きな課題だと思った。

NPOうべ環境コミュニティー代表 浮田正夫さん：平成23年の夏から銀天プラザの4階建てのビルの管理をやっている。昨年からは、環境省の助成事業で『子ども達の生きる力を育む地域教育力の向上』をテーマに取り組んでいる。いろいろな関連団体と連携して、小さい子ども達に生きていく上で一番大切なものを身につけてもらう体験学習に力を入れている。今日のような雰囲気、いろいろな違う立場の人と直に交流できるのは非常に貴重な空間だと思う。市役所がそういう場になるような計画になれば非常にありがたい。

* * *

内田氏：その他の分野として農山漁村の振興、観光の振興等がある。市役所の6次産業推進室では、農業や漁業など宇部にある資源を活かす試みや、「うべ元気ブランド」という新しい特産品の開発も官民あげて取り組んでいる。新しい市役所で、こういう情報が的確に得ることができたら非常に面白いのではないかなと思う。

今、大人の社会派ツアーというのがとても人気だと聞く。今までの観光地ではなり得ない、石炭を掘ったところを巡りながら歴史をちゃんと学ぶという、そういうものが新しい観光の形になっており、コンベンション協会などを中心にいろいろな活動を展開している。



『市民活動支援スペースや広場で こんなことができたらいいな！』を考えました

市民活動支援スペースや広場を有効に使うアイデアを出し合っていました

[]はグループ番号

広場の活用

◇定期的なフリーマーケット/マルシェができる空間(広場)+店舗、農産物直売所 [3]

- ・店舗、フリーマーケット
- ・農産物直売所
- ・週末フリーマーケット、マルシェ
- ・フードイベント

◇ストリート系のスポーツを披露できる場所 [6]

- ・野外演奏が出来る様にしては?
- ・アーティスト、アイドルの野外ライブ
- ・スケートボード
- ・BMXデモ
- ・ダンス(鏡)
- ・プロによる3on3。

◇イベント広場で定期的にフリーマーケットや飲食系のイベントなどを行う。[7]

- ・市民支援スペースを利用しやすい様に、バス停の位置を近づける。
- ・イベント広場にて定期的にフリーマーケット、飲食店を企画。例)第○日曜日

◇子育て世代、熱望!!巨大遊具(雨天可)!! [8]

- ・雨でも使えるスペース
- ・子供用遊具(雨天可)

「緑と花と彫刻のまち」

◇庁舎を木造建築にし、「花と緑と木と水辺のある街」とするイベントを企画する。

◇日常のいこいの場にする。

◇水上イルミネーション、水上花火等、他市にはないオンリーワンの企画をする。

◇イベント時以外の日常にもファーマーズマーケット等のマルシェ、オープンカフェ等を開催する。

◇宇部まつりはもちろん、新川まつりもこの広場を拠点にする。[4]

◇植栽や花を育てるグループ…場
ex) 学生、市民、花が好きな人々 [1]

- ・花
- ・花を置く
- ・植物の販売等
- ・障がい者団体、事業所が造った商品を販売するコーナー
- ・各グループ活動提案の紹介(掲示板の設置、イベントの紹介)
- ・協同、協賛活動(共通テーマ)

- ・真締川公園からの動線をうまく使い、宇部まつり等のイベントで「緑と花と木と水辺のある街」を特徴立てし、インバウンドにも興味を持たせるイベントに使う。水上イルミネーション、水上花火、水上花まつり。博多のキャナルシティも水(川)をうまく使っているが、その上を行く内容のイベント。庁舎の木造提案と合わせ、「緑と花と木と水辺の街」をイメージUPさせる庁舎前広場のイベント、デイリーの風景を創造することが大切です。イベント時だけでなく、日常的に広場を市民皆が楽しめる必要あり。例)ファーマーズマーケット
- ・真締川と一体的に活用した上品なコンサート等をやる。芝で寝っ転がって聞ける。
- ・マルシェ。気軽な感じで市内のカフェ等を集めて。
- ・市民広場について、フリーマーケットやマルシェ(市場)が定期的開催できるようにする。
- ・地産地消。宇部市、山口県内の特産物売り場(固定)
- ・オープンカフェ(固定)。真締川のほとり。
- ・各種の発表会(歌、踊り、その他)

人が集まる場所

◇すべての人が集まる場。体験コーナー
ex)保健課に行くなら車椅子に乗っていく、
真っ暗な中で書類を出す等。[1]

- ・子育て ・乳児保育園の設置
- ・スポーツなどしたい人は運動できる場所
- ・すべての人が集まる場所
- ・視覚障害の案内
- ・障がい者団体を理解する為のエリア。活動パネル等の紹介コーナー。体験コーナー。

◇溜まり場 [5]

- ・オープンカフェ(食事)
- ・イベント会場 (20~30名)
- ・部屋でやっている茶話会をイベント広場でやってもみたい。
- ・広場にオープンカフェがあれば地域ぐるみで情報交換等が出来るのでは。
- ・川沿いで飲み会をしたい。
- ・夜の川沿いを活かしたイベントやふらっと寄れる空間が欲しい。
- ・近くにバス停があるので高齢者が集まりやすい。

◇有名なカフェ(スタバ)やレンタルレストラン [6]

- ・季節ごとのスイーツフェア
- ・レンタルレストラン、レンタルカフェ
- ・スタバ

◇医学部との合同イベント(講演会) [8]

- ・若者の居場所
- ・医学部との合同イベント(講演会)
- ・毎日、どこかの団体がイベントをやっている。
- ・市出身の人のイベント
- ・朝市(毎日、毎週)
- ・フードフェスティバル(スタジアム)。ラーメン、うどんスタジアム。

◇共用スペース。災害時の避難場所として共用スペースや屋上を利用する。[4]

- ・災害時の避難場所になれるよう、共用スペースや屋上を利用したい。

◇図書館、ギャラリー。若者も集まれるようにスターバックスやツタヤの運営をして欲しい(民間の運営にお願いする)。[4]

- ・図書館(コーナー)。スタバ、TUTAYAの運営 →民間の運営に
- ・スターバックス設置
- ・庁舎前広場の普段の利用
- ・中庭の施設
- ・若い年齢層や一般の人が立ち寄りやすい施設

◇FMきららの放送局、オープンスペース、保険相談コーナー、一時保育所溜まり場 [7]

- ・音楽が聞けるといいな!
- ・地下にプールはどうですか?
- ・図書館とカフェが一緒にあるといいなと思う。
- ・FMきららをオープンスペースに!
- ・保育園
- ・保健婦さん、介護士さん又は栄養士さんの一人がいて、いろいろ健康について相談出来る場所があると助かる。ただし有料でも良い。保健相談コーナー。

◇食堂、カフェ+情報公開、展示コーナー。安くて美味しい!山口大学のような…100円定食!! [3]

- ・食堂は不要という意見もある。必要性が感じられない、明確な根拠がない。
- ・食堂、カフェ、ロビー。情報発信の場、展示コーナー、公開。

◇全体的におしゃれに統一させたスペース [6]

- ・彫刻のまちとかけて食のアート
- ・「理科教室」「料理教室」「皮革工芸教室」
- ・150~200名の多目的ホールでなく、300人の本格的ホール
- ・一般企業が利用出来る会議室のようなもの(多目的ホール)
- ・真締川でハゼ釣り大会 ・カヤック
- ・車展示会 ・ヨガ

◇山口大学のサテライトキャンパス。中心に学生を呼び込む!市役所-大学 [3]

市民活動の応援

◇チャレンジコーナー（彫刻、ミュージシャン、工房、新商品販売など）〔2〕

- ・宇部市の特産品を売る販売スペースを作る。
- ・チャレンジコーナー。新商品の試作、販売ができる。
- ・彫刻のチャレンジコーナー
- ・ミュージシャンチャレンジコーナーを回廊付近に。
- ・チャレンジショップ、工房

◇若者の起業、創業の支援のための情報提供などの法人又は支援団体に入って頂く空間を造り、イベント広場にて限定でコンテナ等を利用し、起業してもらい感触を確かめながら、上手くいったら外に出て起業、創業をしてもらうようなシステム。〔7〕

- ・起業、創業を支援する法人スペース。公、民との中間支援団体が入れる空間。
- ・コンテナ型チャレンジ店舗

◇家でできない作業ができる"アトリエ"。市民で彫刻を時間をかけてつくる、家具作り等。〔5〕

- ・アトリエ
- ・市民でつくりあげる彫刻。時間をかけて。
- ・音の出る作業がしたい。家具作り等。

◇市民活動の案内板〔8〕

- ・市民活動団体がフリーで、交流会が開催されている（茶話会）。
- ・市民活動団体事務局機能を代行
- ・広報活動の掲示板（案内板＋コーディネーター）

◇NPO等のテナントコーナー〔2〕

- ・NPO等のテナントコーナーがあると良い。
- ・宇部ネットワークのオフィスをフロント2階に置いてほしい。

◇打ち合わせ空間〔5〕

- ・自治会等の会合で部屋が使えたら良い。
- ・民間の方と気軽に打ち合わせをできるスペースが欲しい。

芸術に触れる場

◇展示…美術館、渡辺翁の資料、宇部市にまつわる歴史もの、宇部市のPR〔1〕

- ・回遊性。まわりの地理も踏まえる!!
- ・宇部市役所からのアクセス、観光
- ・美術館
- ・展示室
- ・渡辺翁の資料展示
- ・宇部市にまつわる歴史資料
- ・市所蔵の絵画の常設展示
- ・宇部食堂（飯）。宇部のものを食することができる。
- ・宇部市のまち、ひと、しごとに従事している市民活動団体の紹介
- ・シンボル
- ・多目的スペース
- ・交流会の開催
- ・健常者と障がい者交流イベントをする場所

◇美術館、芸術関係〔2〕

- ・美術館などの芸術と関わる場所
- ・多目的ホール。音響設備、映像設備にこだわる。他の施設との差別化。
- ・観光コーナーにVR技術を取り入れる。

<その他、出されたポストイット>

- ・カフェスペース。スターバックス等、有名店だったらいいな。〔2〕
- ・子ども食堂のスペース〔2〕
- ・道路に面した多目的ホール。イベントがない時に寂しい印象になるのでは？〔2〕
- ・1km未満の距離に図書館があるのに図書コーナーがいるのだろうか？情報コーナーで十分では？〔2〕
- ・図書展示コーナーは不要と思う。〔2〕
- ・屋上ガーデンの管理を市民ボランティアにお願いする。〔2〕
- ・親水広場（真縮川を活かした）。屋上庭園が厳しい…。〔3〕
- ・タクシー、バス乗り場〔3〕
- ・集中して勉強できる空間。調べ物もすぐできるような。〔5〕
- ・形に残るイベント〔5〕
- ・イベントを計画的に組んでみたら（子ども達の）〔5〕
- ・交流できるスペース（4人掛けくらいのテーブルとイス）〔6〕

1 グループ



- 108億円を使うなら2億儲けるような市庁舎になったら良いなという夢で語った。
- 真締川全部を花で飾ることを考えると、植栽や花を育てるグループが必要。そこにはいろんな人が集まったら良い。
- 市役所から「ここまで行けて〇分、もう1回帰っておいでね」とか言えるような、アクセス場所が展示できたら良い。
- 市役所に体験コーナーを設け、視覚障がいの方が案内するスペースや車イスに乗る、真っ暗なスペースで書類を書くなどがあったら面白い。
- 全ての人が集まる、何回も市民が足を運べるような夢を語って終わった。

2 グループ



- チャレンジコーナーは彫刻をやる人やミュージシャンに短期間場所を貸して、成功したら他のところでやってもらうような場所。
- NPOについて、学生をはじめ知らない方が多い。また、情報が点在してまとまっていない。
- NPO団体は金銭的余裕がないようなので、市役所にNPO団体の居場所を設け、いろんな情報が身近になるようなスペースが欲しい。
- 宇部市には川崎美術館、ときわミュージアムがあるが、市庁舎に美術館を作り、芸術に触れられる場所があると良い。

3 グループ



- 山口大学のサテライトキャンパスなど市役所と大学が連携して宇部の中心に学生を呼び込む機能があれば、にぎやかになるような空間になるのではないかな。
- 食が一番、市民の食いつきが良いので、広場を定期的なフリーマーケットやマルシェができる空間にしてはどうか。またメインストリートに面した店舗や農産物の直売所を機能として加えてはどうか。
- 情報公開や展示コーナーを食堂やカフェに付随させ、市民が情報や展示空間に気軽に触れられるようにする。
- 山口大学の100円定食のように、安くて美味しい食堂にしていきたい。

4 グループ



- 隈さんの提案するCLT工法なら花と緑にも合うし、構造も自由に作れるので、できれば隈さんの意見も入れられたらどうか。
- 他にはないオンリーワンのイベントとして水上イルミネーション、水上花火。
- 日常的な交流の場としてファーマーズマーケット、マルシェ、オープンカフェを市民が運営していく。宇部まつり、新川まつりの拠点にする。水辺の講習。
- 災害時の避難場所として共用スペースや屋上を利用することを第一に考えて欲しい。
- 図書館、ギャラリーは基本的に官を入れなくて民間ベースでやって欲しい。若者を引き込むためのスターバックス、ツタヤ等。

5 グループ



- 気軽にふらっと来て打ち合わせができるような空間があれば良い。
- 音が出る作業や高級機材が必要な作業など、家でできない作業ができるアトリエが欲しい。できたら市民で彫刻をつくっていけるようなものがあれば良い。
- 広場に屋根を架げるだけでも良いので、散歩しながら人が集まっていたら気軽に行けるような溜まり場のようなものを無料でつくりたい。
- 普段、地域の人達が公民館などでしている「茶話会」ができると良い。
- 多世代、同世代の交流ができる場。

6 グループ



- ストリート系のスポーツを披露できる広場。
- 若者からお年寄りまで共通認識している有名なカフェ、例えばスタバなどを入れてもらえば、山口県宇部市で一番有名なところができるのではないかな。
- キッチンを擁するスペースを用意して、プロの料理人に、1ヶ月程度の短いスパンでお店を出してもらえるようなレンタルレストランという案が出た。
- 人が来るためにはおしゃれな空間であることが第一。流行のヨガ、ミズベリングを踏まえたカヤックなど、水辺を使った活動を重点的にやったら良いのではないかな。

7 グループ



- FMきららの放送局、オープンスペース、保険相談コーナー、一時保育所の提案が出た。
- イベント広場では、定期的にフリーマーケットや飲食系のイベントなどを行う。ターゲットを絞って、それぞれ毎回違うような人々に来てもらえたら良い。
- 若者の起業、創業支援のための情報提供をする法人又は支援団体に入って頂く空間をつくる。またイベント広場に限定的にコンテナ等を配し、そこで若者に起業してもらう。感触を確かめながら、上手くいったら市内外に出て起業、創業をしてもらうようなシステムができれば良いのではないかな。

8 グループ



- 宇部市内に子どもを遊ばせる場所があまりないので、雨の日でも子どもが遊べる場所を庁舎内に設けてにぎわいをつくる。
- 医学部と近いので、医学部から先生を呼んで講演会を開いてもらう。お年寄りの方が喜ぶのではないかな。
- 先ほどいろんなNPO法人の紹介があったが、宇部市民があまり知らない状況があるので、どういう活動をしているのか、案内板のようなものを作ってもっと広く発信できるような場所を作れば良い。

感想カード

最後に、今日参加した感想や今後の進め方など、自由に感想カードにお書きいただきました

♡ これからも参加していきたい

- 今までにない雰囲気ワークショップであったと思います。市庁舎本庁舎隣接地区での今後も、興味をもって臨みたいと思います。
- 今回初めてワークショップというものに参加しました。初めてだったので緊張していたけど、グループの人達がおもしろくて、おかげで緊張がほぐれて楽しかったです。また機会があれば参加させていただきたいと思います。
- 参加させていただき、本当にありがとうございました。力不足ですがガンバッテ参加します。
- 新庁舎に多くの期待がかかっております。又、いろいろ考えて次の会合に出席し、意見を出したいと思います。
- 提案（意見）を出す事が難しい。思いつきでしか出なかったが、次回は自分の意見をまとめて参加したい。
- 内田先生の”しめ”に感動！次回を楽しみにしています。

♡ 市民が集まる市役所に

- 市役所が”真締川リバーサイドパーク”の1拠点として機能し、市民の市民による市民の為にセントラルゾーンになる事を望みます。
- 宇部の街の好きなところがたくさん見つかりました。宇部市役所が新しくなり、100年、もっともっと使ってもらえるような市役所になるとうれしいです。宇部市が儲けられるような、もっと子ども達も使えて宿泊施設が充実すると、市外の方から喜ばれて市も潤うのではないのでしょうか？貴重な時間をありがとうございました。
- 今回、初めてワークショップに参加させてもらって、今まであまり考えなかった市役所の新たな形について関心を持ちました。市役所には今までは少し堅苦しいイメージがあったので、この建て替えをもって、気軽に入れる空間になれば、もっと活気あふれるものになるだろうと思いました。
- 今回、初めて参加をしてみて、イメージは考えてあるけどかなり曖昧にイメージを描いてあったので、完成する時がとても楽しみだなと思いました。老若男女、年齢を問わず人が集まったらいいなと思いました。
- 宇部市が元気になることが肝要。楽しい交流の場になることを期待する。宇部のシンボルとして、他県に自慢できるものを!!
- 市役所と学生との接点を増やしていける提案ができれば…

♡ ワークショップの進め方

- 自由な意見は良いが、もう少し問題点をしぼり、ある程度の範囲を決めて行かないとまとまりがない様に思う。今までにも色々と意見を出したけど、また元に戻る様では？
- 今回もいろいろな意見を聞いて大変有意義でした。ただ前回同様、実現不可能なアイデアが出て、これはどうかなと思いながら議論してました。今後は実現可能なものということを最初に告知してもらった方がいいと思いました。
- 市民交流やまちづくりの拠点、宇部のまちの「顔」として、こういった機能、仕組みが必要か議論していきたい。
- 市民活動団体、市民自らが利用、運営していく為に何が必要か、考えて行く必要があると思います。
- ワークショップ全体としては主体性を持って市民活用空間を活用していくであろう人が少ない気がしました。主体性をもって活用できる人にもっと参加していただく形がいいと思いました。
- 第一段階としてはこんなものでしょうか。商工会議所の人も参加された方が良いでしょう。又、コンベンション協会の人も参加したらどうでしょうか。
- オープンなスペースでの開催はとても良いと思いましたが、風が気になり、集中しにくかったです。学生の方も多く、ユニークな意見交換ができて良かったです。可能なら事前に資料をメール等でいただけたら、より内容を吟味した上で参加できると思います。

<今後、参加してもらいたい人やグループ>

- フロンティア大学、高専、医学部の学生
- 工学部長、医学部長など宇部市内の大学、高校の先生方など
- 「にぎわい宇部」まちづくりアドバイザー一枚さん
- まちづくりグループ宇部未来会議
- 交通局局長
- 商工会議所
- コンベンション協会
- 宇部市緑化事業課
- 真締川に詳しい人
- 宇部西の生徒達
- 関係の市議員さん
- 税理士
- 隈研吾さん
- カトリックの神父様
- NPO法人関係の方
- アワセルブスさん
- 101デザインさん

<傍聴された方のご意見>

- 素敵な彫刻を広場において下さい!
- あえて屋上花壇は必要ないと思います。今の資源（真締川公園）を活用すべき。
- 川に開いた広場をつくってほしい。
- 川の公園と一体となったウォーターフロントと言える広場になるといいと思います。緑が多すぎ。

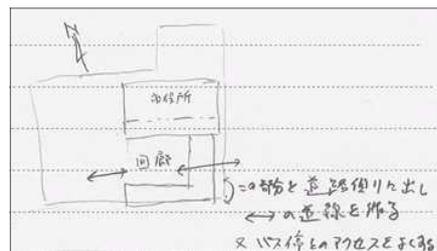
♡ いろんな話ができ有意義だった

- 大変有意義なワークショップでした。若い人が多くてよかったです。
- 宇部市のことを改めて考え、そして宇部市の創成について考えるきっかけになりました。
- 色々な方の話と意見を聞かせてもらい、勉強になりました。
- いろんな年代、立場の方と話す機会がおもしろかった。
- 違う年代、違う立場の人達が意見を交換する、充実した時間になりました。
- いろいろな人と話せて楽しいワークショップでした。特に若い人の意見が聴けたこと、具体的な市民活動への要望が聞けたことがよかったです。
- 色々なアイデアが出て参考になりました。
- 庁舎は機能重視、シンプルがよいと考えていましたが、各班の発表を聞き楽しくなった。
- 初めて大きな規模のWSに参加したが、様々な職種の方と話ができ、面白い提案を聞くことができた。今後もこのWSの動向を気にしつつ、設計段階を目で追っていきたいと思う。
- 宇部市役所を宇部の人々にとってほかれるようなものにするために、様々な年齢、職業、立場の人々が話し合えたのはとても有意義でした。
- いろいろな考え方が出て楽しい時間でした。市民活動（NPO）のコーディネーターとして活躍できる人の人材育成が重要と思います（運営管理etc.）。ハコはとても考えられたデザインだと思いますが、ヒトをどうするかがポイントだと思います。
- ワークショップには初めて参加しましたが、いろいろな人と話ができ、よかったです。山口大学の学生として、山口大学の工学部や医学部がもっと宇部市と関わっていけるような市庁舎になればいいと思います。
- 日頃、市民の意見を直接聞く場がないので、このワークショップに参加してユニークな意見をたくさん聞くことができたと楽しかったです。次、参加するときまでもっと考えていきたいです。
- 初めて参加させていただきました。山大（建築部）の学生さん達の考えがしっかりしており、色々な事を考えさせられました。ありがとうございました。

♡ 計画に対する提案

- 設計会社の方に庁舎の構造は何ですかと聞きましたら、これからと言われましたが、決まらないで意見は言えません。ぜひ木造CLTを隈さんをからめてしていただきたい。進行がスムーズでない。ステップ5の説明は知らない。庁舎は木造CLT工法で作ってほしい（オンリーワンの庁舎）。
- ①立派な庁舎ができるので、バスなどのアクセスを良くして欲しい（自動運転の巡回バスを走らせる）。②全面禁煙にして下さい。
- 宇部市教育委員会が「土曜日実験教室」を行っています。市役所に多目的ホールを使ったラボがあると、楽しく市民に理科実験を行うことができると思います。
- 宇部市役所に人が集まらなくても、宇部市に人が集まり、経済が活性化すればいい。宇部市の資源をつなげる市役所になって欲しい。飲食店なら固定資産税軽減、設備費補助で展開出来ると思います。現存の飲食店と共存して欲しい。1カ所に集まる工夫はないだろうか？集客手段として。

○図参照→



設計者からのコメント

ユニークなアイデアがたくさん出てびっくりしました。山口大学サテライトキャンパスは非常に面白いアイデアで、花に関する意見も多かったと思います。一方で市民活動の場所や彫刻を見せる美術館的な空間の意見があるなど、宇部らしいアイデアを頂けたと感じています。

かなりバラエティに富んだアイデアが多く、我々としては、この後どうしていこうかという嬉しい悲鳴とともに、チャレンジする意欲をかきたてられた一日でした。これからもワークショップが続きますので、引き続きご参加よろしくお祈いします。



ファシリテーターからのコメント

商店街のアーケードの中での開催というユニークなワークショップを初めて体験しました。部屋の中で考えるのとは一味違う臨場感に溢れたアイデアがたくさん出たように思います。次はこのアイデアを実現に向けて絞り込んでいくこととなります。

幅広い年代の方と話すことはそれだけでも楽しい時間です。できるだけ多様な意見を集めながらわくわくできる施設づくりを進めていきたいと思うので、是非、お知り合いの方に声掛けして頂くようよろしくお願い致します。